

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	1	基本事務事業名	介護保険低所得者負担対策事業	事務事業名	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年5月29日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	林正二		シート作成者名	植木大成			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4) 高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策 (2) 介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	低所得者1又は低所得者2の者のうちで、県知事に軽減を行うことを申請した社会福祉法人又は市町村、都道府県が実施する社会福祉事業体を利用する者										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	低所得者で生計が困難である者について、申請に基づき県知事等に軽減を行うことを申し出た介護福祉サービス等の提供を行う社会福祉法人等に、一部補助金交付することで、利用者の負担を軽減措置します。									
			今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 介護サービス等利用者の一部負担について、事業者及び軽減制度同一事業所における年間の軽減額のうち、本来受領すべき利用者負担額を一部補助金交付します。												
	②												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	低所得者サービス利用者	低所得者からの救済措置としての申請者数を指標数値とします。	人	目標	→(維持)	→(維持)	→(維持)	→(維持)					
				実績	31	23							
				目標									
				実績									
目標													
実績													
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	2 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費			
	直接事業費		平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
		国庫支出金	659 千円	450 千円	1,200 千円	今後は介護保険制度改正の措置軽減継続の動向により、判断する。							
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	220 千円	150 千円	400 千円								
	計(A)	879 千円	600 千円	1,600 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.063 人	385 千円	0.063 人	385 千円	0.063 人	396 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,264 千円		985 千円		1,996 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	低所得者で生計が困難者の利用が合った場合、社会福祉法人等のサービスに対して必要な負担をしています。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	社会福祉施設の利用と促進と、低所得者の負担軽減が可能となり有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	該当者の申請要望を現在は概ね達成できています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	低所得者の軽減が可能となり、社会福祉法人等の利用促進ができています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	社会福祉法人等との連携により、軽減対象となる利用者の把握と制度利用を促進するとともに、生計が困難であるかの現状分析により今後も適正に運用します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	介護保険制度の整合性と動向を考慮し、社会福祉法人等に周知するとともに制度の維持等を検討しながら改革も含め、今後対応していく必要があります。					介護保険制度を活用する低所得者対策として、今後も社会福祉法人等の軽減措置が必要なため継続していきます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	3	基本事務事業名	介護保険料賦課徴収事務	事務事業名	介護保険料賦課徴収事務	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月8日			
	部局名	健康福祉部			課名	介護保険課		主務課長名	林正二		シート作成者名	友行仁美			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当				平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		(65歳以上の)第1号被保険者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	第1号被保険者の保険料は、阿波市が定める保険料率(給付水準と対比し3年計画期間ごとの基準額)により必要額を算定し、介護保険事業の給付費用をまかなうために保険料を賦課し、国費等以外の必要な自主財源として保険料の徴収により財源確保をします。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 65歳以上の介護被保険者に対して、年金を受給している者のうち天引可能者については、保険料の特別徴収により財源確保します。														
	② 65歳以上の介護被保険者に対して、特別徴収されない者については、保険料の普通徴収により財源確保します。														
	③ 介護保険料納期は年6回(4月・6月・8月・10月・12月・2月)で賦課徴収します。														
	④ 滞納者についての督促状・催告書の発送及び徴収事務														
	⑤ 普通徴収対象者には口座振替の推奨														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	収納率		(徴収率-還付未済額)÷調定額×100		%	目標	96	96	96	→(維持)					
						実績	97.3	97.3							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1	総務費	項	2	徴収費	目	1	賦課徴収費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		35 千円	430 千円	707 千円									
		一般財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		計(A)		35 千円	430 千円	707 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.000 人	12,237 千円	2.000 人	12,237 千円	2.000 人	12,567 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)			12,272 千円	12,667 千円	13,274 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	介護保険料の賦課徴収は、制度維持の自主財源確保の事務です。現在もそうであるが、高齢化社会に向けて無くてはならない制度であり、住民のニーズに応じていくべきものです。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	全員の被保険者に対するの保険料の賦課徴収することにより、市の介護保険制度の安定維持が図れます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	特別徴収対象者との公平性を保つ観点から、徴収権利が2年で時効となる滞納繰越分普通徴収保険料の収納に重きを置いて徴収努力をし、不納欠損額を減少させます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	年金生活者にとっては、保険料は決して安くくはないが、市内の介護保健施設(事業所)の充実を考慮すると適当であると思われます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	普通徴収対象者のうちサービス未利用者の一部には、制度そのものに理解が得られていない。「介護」が身近で切実な問題であることを説明し理解を求め、収納率向上に努める。また、地域包括支援センターと連携して介護予防事業を推進することにより、給付費の抑制と今後の介護保険料の高騰を抑えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	広報紙・ケーブルテレビ等を積極的に活用し、制度の啓発又は必要性を懇切丁寧に伝えていきます。					被保険者からの介護保険料の賦課徴収による財源確保が制度の安定運用を維持するのに不可欠です。今後も滞納者に対して納付の必要性を促し、訪問・督促等の対応により必要な保険料の財源確保を継続していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	4	基本事務事業名	介護認定調査等事務	事務事業名	介護認定調査等事務	公的関与	1	シート作成日	平成21年5月21日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	林正二		シート作成者名	植木大成				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当				平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険被保険者のうち要支援、要介護認定申請者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	被保険者の認定申請に基づき提出書類等審査と認定訪問調査書及び主治医の意見書等により、認定申請者の審査を徳島中央広域連合に依頼し、審査結果により、該当者に市が認定決定し介護保険被保険者証を交付することにより、認定該当者が介護保険事業所の介護保険給付を受けます。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 介護認定申請受付及び書類審査事務														
	② 認定訪問調査委託、主治医意見書等の依頼事務														
	③ 徳島中央広域連合会への介護認定申請者書類の進達事務														
	④ 介護認定決定者の給付台帳、決定通知書の事務処理														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	要支援・要介護認定者数		介護保険事業計画(3年間)介護認定者数		人	目標	2,448	2,477	2,502	維持					
						実績	2,423	2,450							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1	総務費	項	3	介護認定審査会費	目	2	認定調査費
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
		国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円	介護保険事業計画(H21~H23)3年間								
		県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		20,154 千円	22,245 千円	28,578 千円									
		一般財源		0 千円	0 千円	0 千円									
	計(A)		20,154 千円	22,245 千円	28,578 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		3,000 人	18,356 千円	3,000 人	18,356 千円	2,000 人	12,567 千円						
		臨時・嘱託職種		介護支援専門員		介護支援専門員		介護支援専門員							
臨時・嘱託工数・経費		1,000 人	1,980 千円	2,000 人	3,960 千円	2,000 人	3,960 千円								
全体事業費(A+B)				40,490 千円	44,561 千円	45,105 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	介護保険制度の各種給付サービスを受けるために、介護認定者を各保険者において認定する事務として必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	介護保険制度の各被保険者の認定の状態に応じた各介護サービスを受けるために認定(要支援・要介護)判断を行い、事業所等で適正なサービスを利用するのに有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	介護の認定が必要な被保険者に対して、認定事務が適正に処理されるとともに、被保険者の状況に応じた認定者の決定がされています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	現段階の介護保険制度では、現状が最も効率的と思われます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	介護認定申請者からの介護認定として新規・更新(6カ月～24カ月)認定者の数も多く、国の介護保険制度改正等(3年間)により、更新者の認定期間及び認定結果(介護度の引き下げ)によってクレーム対応で、作業的支障をうけ期間内処理が困難になる場合があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	介護認定者の添付書類等を基に適正に処理し、訪問調査委員・主治医等の意見を確認するとともに、申請人が認定結果に納得できるように徳島中央広域連合会の審査会と連携を強化して、適正な介護サービスが受けれるよう理解を深める必要があります。					徳島中央広域連合との連携により、認定申請から決定における関係書類との整合性を確認するとともに、地域包括支援センターと各事業所の訪問調査についての内容等を適正に確認処理し、認定結果及び内容に不服がある方についても要認定者の状態・状況等による審査結果を説明し理解を得ていきます								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	居宅介護福祉用具購入事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月4日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	林正二		シート作成者名	印藤隆重			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策 (3)予防給付・介護給付の実施			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	居宅の要介護認定者										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	要介護者からの申請により、介護状態に応じて、必要な福祉用具の購入助成(9割)をすることにより、自宅でなるべく自立した生活ができるように支援します。									
			今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 入浴を補助する福祉用具(シャワーチェアや浴槽のまたぎやすくなるためのすのこ等)の補助をします。												
	② 腰掛け便座(ポータブルトイレや和式便器の上に置いて腰掛け式に変換するもの等)の補助をします。												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	居宅介護福祉用具購入者	要介護認定者の福祉用具購入者数です。	人	目標	140	140	140	現状維持					
				実績	139	138							
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		款	2	保険給付費	項	1	介護サービス等諸費	目	8	居宅介護福祉用具購入費
	直接事業費		平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
		国庫支出金	934 千円	982 千円	1,039 千円								
		県支出金	416 千円	432 千円	460 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,447 千円	1,500 千円	1,563 千円								
		一般財源	529 千円	540 千円	616 千円								
	計(A)	3,326 千円	3,454 千円	3,678 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人 122 千円	0.020 人 122 千円	0.020 人 126 千円								
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		3,448 千円	3,576 千円	3,804 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	認定者の増減があまりなく、介護保険の対象となって必要とされている福祉用具を購入は適切であると判断できますので、現状維持を目標とします。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	実施手段等の見直す余地がほとんどありません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	実際に、福与用具が適切に利用されているかどうかの現地確認等ができていない。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	現場確認作業(年間約140件申請のうち 3~5件程度)の計画を立てていきます。					要介護者に自立した生活支援ができるように、今後も生活環境・介護状態に応じた必要な介護福祉用具を購入する費用を負担していきます。なお、必要に応じて適切に利用されているかケアプラン作成者等を通じて確認を行っていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	6	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	居宅介護住宅改修事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月4日		
	部局名	健康福祉部			課名	介護保険課		主務課長名	林正二		シート作成者名	印藤隆重		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり						実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実						<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策 (3)予防給付・介護給付の実施						<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		居宅の要介護認定者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	要介護者からの申請により、介護状態に応じて、必要な住宅改修を行った場合に費用助成(9割)をすることにより、自宅でなるべく自立した生活をできるように支援します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 手すりの取り付けの補助をします。													
	② 段差の解消の補助をします。													
	③ 滑り防止・移動の円滑化等のための床又は通路面の材料変更の補助をします。													
	④ 引き戸等への扉の取り換えの補助をします。													
	⑤ 洋式便器等への便座の取り換えの補助をします。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	居宅介護住宅改修者		要介護認定者の福祉用具購入者数です。		人	目標 110	110	110	減少傾向を容認					
						実績 128	92							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	保険給付費	項	1	介護サービス等諸費	目	8	居宅介護住宅改修費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	3,184 千円		2,711 千円		3,540 千円							
		県支出金	1,417 千円		1,193 千円		1,567 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	4,931 千円		4,142 千円		5,327 千円							
		一般財源	1,803 千円		1,496 千円		2,099 千円							
		計(A)	11,335 千円		9,542 千円		12,533 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	184 千円	0.030 人	184 千円	0.030 人	189 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		11,519 千円		9,726 千円		12,722 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	要支援認定者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	住宅の近代化に伴い、もともとバリアフリーの住居や洋式トイレがある家が増えてきていますので、将来的に件数や費用は減少する傾向です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	実施手段等の見直す余地がほとんどありません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	実際に、住宅改修が適切にされているかどうかの現地確認等ができていません。現状は写真判定により行っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	現場確認作業(年間約110件申請のうち 3~5件程度)の計画を立てていきます。					要介護者が自宅において自立した生活ができるように、介護の状態に応じた必要な生活環境整備として住宅改修費用の一部を限度額の範囲内で負担していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	7	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	介護予防福祉用具購入事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月4日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	林正二		シート作成者名	印藤隆重				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり					実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実					<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (3)予防給付・介護給付の実施					<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要支援認定者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	要支援認定者からの申請により、介護状態に応じて、必要な福祉用具の購入助成(9割)をすることにより、自宅でなるべく自立した生活をできるように支援します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 入浴を補助する福祉用具(シャワーチェアや浴槽のまたぎやすくなるためのすのこ等)の補助をします。													
	② 腰掛け便座(ポータブルトイレや和式便器の上に置いて腰掛け式に変換するもの等)の補助をします。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	居宅介護福祉用具購入者		要支援認定者の福祉用具購入者数です。		人	目標 82	82	82	現状維持					
						実績 82	82							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2 保険給付費		項	2 介護予防サービス等諸費		目	5 介護予防福祉用具購入費	
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	417 千円		543 千円		469 千円							
		県支出金	185 千円		239 千円		208 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	645 千円		830 千円		706 千円							
		一般財源	235 千円		300 千円		277 千円							
		計(A)	1,482 千円		1,912 千円		1,660 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	122 千円		0.020 人	122 千円		0.000 人	0 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,604 千円		2,034 千円		1,660 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	要支援認定者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	いえる	要支援認定者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえ	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	認定者の増減があまりなく、介護保険の対象となって必要とされている福祉用具を購入は適切であると判断できますので、現状維持を目標とします。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	実施手段等の見直す余地がほとんどありません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	実際に、福祉用具が適切に利用されているかどうかの現地確認等ができていません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	現場確認作業(年間約80件申請のうち 3~5件程度)の計画を立てていきます。					要支援者に自立した生活支援ができるように、今後も生活環境・介護状態に応じた必要な予防対策を兼ねて、福祉用具を購入する費用を負担していきます。なお、必要に応じて適切に利用されているかケアプラン作成者等を通じて確認を行っていきます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	8	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	介護予防住宅改修事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月4日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	林正二		シート作成者名	印藤隆重				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり					実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実					<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (3)予防給付・介護給付の実施					<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		居宅の要支援認定者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	要支援認定者からの申請により、介護状態に応じて、必要な住宅改修を行った場合に費用助成(9割)をすることにより、自宅であるべく自立した生活をできるように支援します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 手すりの取り付けの補助をします。													
	② 段差の解消の補助をします。													
	③ 滑り防止・移動の円滑化等のための床又は通路面の材料変更の補助をします。													
	④ 引き戸等への扉の取り換えの補助をします。													
	⑤ 洋式便器等への便座の取り換えの補助をします。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	介護予防住宅改修者		要支援認定者の住宅改修者数です。		人	目標	80	80	80	減少傾向を容認				
						実績	77	83						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	保険給付費	項	2	介護予防サービス等諸費	目	8	介護予防住宅改修費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	1,996 千円		1,754 千円		1,682 千円							
		県支出金	889 千円		772 千円		744 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	3,092 千円		2,680 千円		2,530 千円							
		一般財源	1,130 千円		966 千円		998 千円							
		計(A)	7,107 千円		6,172 千円		5,954 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	184 千円	0.030 人	184 千円	0.030 人	189 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		7,291 千円		6,356 千円		6,143 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	住宅の近代化に伴い、もともとバリアフリーの住居や洋式トイレがある家が増えてきていますので、将来的に件数や費用は減少する傾向です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	実施手段等の見直す余地がありません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	実際に、住宅改修が適切にされているかどうかの現地確認等ができていません。現状は写真判定により行っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	現場確認作業(年間約80件申請のうち 3~5件程度)の計画を立てていきます。					要支援者が要介護状態にならずに自宅において自立した生活ができるように、介護の状態に応じた必要な生活環境整備として住宅改修の一部を限度額の範囲内で負担していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	9	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	特定入所者介護サービス給付業務	公的関与	1	シート作成日	平成21年5月29日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	林正二		シート作成者名	植木大成				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2) 介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要介護被保険者(市町村民税世帯非課税等の低所得者)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	介護保険制度を適正に運用することにより、特定施設事業者(特別養護老人ホーム等)の要介護者に介護サービス等を提供します。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 要介護被保険者が入所利用した、特定施設(特別養護老人ホーム等)に対して費用(基準額)の保険者負担分を支給します。														
	② 施設サービス・短期入所サービスの食費・居住費(滞在費)の負担限度額を超える部分について支給します。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	特定入所者介護サービス利用者		特定入所者介護サービス利用者数を指標としています。		人	目標	3,768	3,768	4,050	→(維持)					
						実績	3,942	4,016							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	2 保険給付費		項	5 特定入所者介護サービス等		目	1 特定入所介護サービス費	
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	27,928 千円		29,099 千円		29,541 千円		利用者数の微増を考慮して、第4次事業計画(平成21年度~平成23年度)で目標数値を4,050人に見直ししました。						
		県支出金	20,974 千円		21,469 千円		21,758 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	52,408 千円		53,648 千円		53,515 千円								
		一般財源	19,167 千円		19,367 千円		21,104 千円								
		計(A)	120,477 千円		123,583 千円		125,918 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010 人	61 千円	0.010 人	61 千円	0.010 人	63 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		120,538 千円		123,644 千円		125,981 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	介護保険制度の特定入所の低所得者への給付措置として必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	特定入所者の経費の軽減措置として、介護保険制度の支給基準により有効に支給されます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	低所得者が介護給付に必要施設サービスが受けられます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	現状の介護保険制度の救済措置としては、低所得者に対して費用の軽減措置が効率的であると思います。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	特定入所において、要介護者自身が施設で介護サービスが受けられ日常生活上の介護、機能訓練が受けられるので、介護施設へ移行してのサービスが必要な場合を除き特に課題はないが、平成18年度介護保険制度改正により施設での食費・居住費について自己負担となった低所得者の救済措置として今後も可能な限り維持支給します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	介護保険制度の改正等により変更される場合があります。					平成18年度介護保険制度改正に伴う要介護者の低所得者への救済措置であり、平成21年度以降においても介護保険制度の改正の動向に応じた対応を行っていきます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	10	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	特定入所者介護予防サービス給付業務	公的関与	1	シート作成日	平成21年5月29日			
	部局名	健康福祉部			課名	介護保険課		主務課長名	林正二		シート作成者名	植木大成			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (3)予防給付・介護給付の実施				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要支援被保険者(市町村民税世帯非課税等の低所得者)											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	介護保険制度を適正に運用することにより、特定施設事業者(特別養護老人ホーム等)の要支援者に介護予防サービス等を提供します。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 要支援被保険者が入所利用した、特定施設(特別養護老人ホーム、経費老人ホーム等)に対して費用(基準額)の保険者負担分を支給します。														
	② 施設サービス・短期入所サービスの食費・居住費(滞在費)負担の限度額を超える部分について支給します。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標						
	特定入所者介護予防サービス利用者		特定入所者介護予防サービス利用者数を指標としています。		人	目標 →(維持)	→(維持)	10	→(維持)						
						実績 9	8								
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	2	保険給付費	項	5	特定入所者介護サービス等費	目	3	特定入所者介護予防サービス費
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
		国庫支出金		15 千円	16 千円	119 千円	利用者数の実績を考慮して、第4次事業計画(平成21年度~平成23年度)で目標数値を10人に見直しました。								
		県支出金		6 千円	7 千円	53 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		22 千円	25 千円	179 千円									
		一般財源		8 千円	9 千円	69 千円									
	計(A)		51 千円	57 千円	420 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.010 人	61 千円	0.010 人	61 千円	0.010 人	63 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)				112 千円	118 千円	483 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	介護保険制度の特定施設入所の低所得者への給付措置として必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	特定施設入所者の経費の軽減措置として、介護保険制度の支給基準により有効に支給されています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		低所得者が介護給付として必要な施設サービスが受けられています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	現状の介護保険制度の救済措置としては、低所得者に対して費用の軽減措置が効率的であると思います。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当			<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
ACTION	一次評価										二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A	4	4	3	3	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	特定入所施設において、要支援者自身が施設で介護予防サービスが受けられ日常生活上の介護予防、機能訓練が受けられるので、介護予防施設へ移行してのサービスが必要な場合を除き特に課題はないが、平成18年度介護保険制度改正により施設での食費・居住費について自己負担となった低所得者の救済措置として今後も可能な限り維持支給します。										二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	介護保険制度の改正により変更される場合があります。										平成18年度介護保険制度改正に伴う要支援者の低所得者への措置であり、平成21年度以降においても介護保険制度の改正の動向に応じた対応を行っていきます。					
委員会指摘事項																

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	11	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者軽度生活支援事業	公的関与	5	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり					実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4) 高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (4) 安心な生活の確保					<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市軽度生活援助事業実施要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険の対象外である65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、日常生活上の援助が必要な者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	軽易な日常生活の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への移行を防止します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 外出時の付き添い													
	② 食材、日用品等の買い物													
	③ 住居等の清掃													
	④ 調理													
	⑤ 衣類等の洗濯													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	利用者人数		年間の利用者延べ人数		人	目標	348	→	→	→				
						実績	237	285						
	利用者のうち要介護認定者率		介護認定者数/全申請者		%	目標	—	22	↓	↓				
						実績	22	11.1						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費			
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
		国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		222 千円	254 千円	357 千円								
		一般財源		2,086 千円	2,387 千円	3,358 千円								
	計(A)		2,308 千円	2,641 千円	3,715 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.044 人 269 千円	0.044 人 269 千円	0.100 人 628 千円								
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円										
全体事業費(A+B)		2,577 千円		2,910 千円		4,343 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	高齢者等に援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にするため必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	高齢者等に援助を行うことで、要介護状態への移行防止ができます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	利用希望者について、援助できるよう対応できています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	在宅高齢者の生活援助がほぼ目標どおり効率的に実施されています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	事業内容の周知及び啓発(該当者のうち未利用者について)活動を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	民生委員に事業内容の周知を行い、該当者について生活支援を促進します。					要介護状態の移行予防対策として高齢者の日常生活支援を行うとともに、事業内容の周知等により未利用者で必要な高齢者に利用促進を行っていきます。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事業事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者緊急通報体制等整備事業	公的関与	4	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	中野貴博		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4) 高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策 (4) 安心な生活の確保			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	阿波市緊急通報装置貸与事業実施要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者で、近隣に扶養義務者がなく緊急連絡を行う必要があると認められる者及び外出困難な重度の身体障害者で緊急連絡等の手段として装置の必要があると認められる者									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ひとり暮らしの高齢者及び重度身体障害者に対して緊急通報装置を貸与し、関係機関及び地域住民の協力を得て緊急連絡等の確保する事業を行うことにより、ひとり暮らしの高齢者等の不安が解消できるとともに福祉の向上が図れます。								
			今年度									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 緊急通報装置(本体+ペンダント)の貸与または給付します。											
	② 24時間通報を受信し、必要な処置を講ずるとともに親族等に連絡しその旨を阿波市、その他関係機関に連絡します。											
	③ 必要に応じてテスト通報(試し押し)を行います。											
	④ 利用者からの相談にもきめ細やかに対応します。											
	⑤											
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標			
	装置設置(既設)	総設置台数		台	目標	225	230	235	→			
					実績	224	229					
	装置設置(新設)	設置台数(月)×12ヶ月		台	目標	36	36	35	→			
					実績	28	28					
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費	
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考					
		国庫支出金	0 千円		0 千円	0 千円						
		県支出金	0 千円		0 千円	0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円	0 千円						
		一般財源	4,589 千円		4,403 千円	4,625 千円						
	計(A)	4,589 千円		4,403 千円	4,625 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.088 人	538 千円	0.088 人	538 千円	0.088 人	553 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		5,127 千円		4,941 千円	5,178 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	ひとり暮らしの高齢者等の緊急手段として装置設置が必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	ひとり暮らしの高齢者等の不安解消と福祉の向上対策に有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	予算の範囲内において事業を実施していきます。概ね希望者に措置の設置ができています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	近隣において、事業を実施する業者がなく、見積書による契約のため、今後、契約方法等の協議によりコスト削減の余地があります。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	平成20年度3月末の緊急通報装置の設置台数は229台であるが、機種別に見るとSL機(旧型装置)が全体の41%と多く導入されています。SL機については、平成8年度までに導入しており13年が経過している。メーカーによる耐用年数が6~7年と聞いており交換時期が来ています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	SL機については、年次的に設置台数を計画的に交換していきます。					65歳以上のひとり暮らし等の方が、安心して居宅で生活できるように必要な高齢者等に緊急通報の整備を今後も継続して実施していきます。なお、旧型装置については、年次的に財源確保を図り交換するとともに、今後のひとり暮らし高齢者等の増加に対応するために財源確保を図っていきます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	13	基本事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	三木敦子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険における予防給付の対象となる要支援者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	対象者の心身の状況、環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成とともに、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行い、適切な介護予防サービス等の提供を行うことにより、対象者の心身の状態の改善を図り要介護状態となることを予防します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 地域包括支援センターの専門職の確保と指定居宅介護支援事業所への委託により、要支援者が利用する介護予防サービス計画を作成します。													
	② 介護予防サービス事業者等への関係機関との連絡調整を行います。													
	③ 指定居宅介護支援事業所へ委託している予防給付のケアマネジメント業務については、適切な介護予防サービス計画の立案ができていないか確認をおこないます。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標					
	介護予防プラン		介護予防プラン作成(月)×12ヶ月		件	目標 6,000	実績 5,724	6,000	↓					
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	2 老人福祉総務費	目	4 介護予防支援事業費			
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
		国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円	人件費のうち、嘱託職員(嘱託介護支援専門員10名分)については直接事業費に19,000千円が含まれています。							
		県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		24,947 千円	24,784 千円	25,826 千円								
		一般財源		-438 千円	820 千円	1,941 千円								
	計(A)		24,509 千円	25,604 千円	27,767 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		6.000 人	36,712 千円	6.000 人	36,712 千円	4.678 人	29,394 千円					
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	10.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		61,221 千円		62,316 千円		57,161 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	介護予防サービスを受けるのには、介護予防サービス計画作成が必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要支援認定者ごとに計画作成するため、各要支援認定者に応じたサービスが受けられ有効的ですが、介護度の改善までは至っていません。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	要支援の状態に応じた計画が概ね作成されています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している					
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	現状の体制では計画書がほぼ効率的にできていると思われます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
	ACTION	一次評価					二次評価							
		評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
		今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
		当面の課題	介護予防支援業務の一部については、指定居宅介護支援事業者に委託して実施しているが、介護支援専門員1人当たり上限8人も既定があり、現在どの事業所においても限度枠に達しており、今後は地域包括支援センターでの占める負担が大きくなってきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画		地域包括支援センターで事業継続していくには、正規職員のみでは対応できず今後も専門職員(嘱託)の人員確保と各事業所との連携により事業の推進を行います。					介護保険制度において居宅における介護予防支援が重要視され、地域包括支援センターの介護予防支援事業所としての役割で、介護予防プラン作成と介護支援専門員等(嘱託職員)による訪問調査等による資料作成等の事務量の増大に対応するため、各事業所への調査・計画依頼を行っていきます。今後も高齢者の増加が見込まれるので、対応策として介護予防支援の改善等(専門職人材確保)を検討していきます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	14	基本事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	中野貴博				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4) 高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2) 介護予防・健康づくりの推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法・阿波市地域包括支援センター運営協議会設置要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者・職能団体等、介護サービス及介護予防サービス利用者・介護保険の被保険者、介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護又は相談業務等を担う関係者、地域ケアに関する学識経験者を有する者、別に定める職にある職員											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	介護保険法に定める地域包括支援センターの公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 地域包括支援センターの設置等に関する事項の承認に関することを行います。														
	② 地域包括支援センターの運営・評価に関することを行います。														
	③ 地域包括支援センターの職員確保に関することを行います。														
	④ その他地域包括支援センターに関することを行います。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標						
	運営協議会の開催数		年2回程度		回	目標 2	2	2	2						
						実績 2	2								
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	155 千円		74 千円		267 千円								
		計(A)	155 千円		74 千円		267 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.021 人	128 千円	0.021 人	128 千円	0.021 人	132 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		283 千円		202 千円		399 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	平成18年度介護保険制度の改正により地域包括支援センターが創設されたものであり、その公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図る上で運営協議会は必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	協議会を開催することによって、地域包括支援センターの運営向上につながっていきます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	高齢化が進む中で、地域包括支援センターに対する確実にニーズは増えている内容について、協議会での報告審議で役割は達成されています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	地域包括支援センターを設置する市町村は、設置が義務付けられており、運営協議会の構成員については、幅広く各層から選定しています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	健康福祉部内にある各種協議会・委員会等の構成員が一部重複しているため、各委員の参集に対して開催日の調整等に苦勞しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	介護保険制度の各種協議会については、制度上必要な協議会であり、構成員等を選定する際に考慮し同日開催(時間調整)ができる調整をしていきます。					阿波市では、地域包括支援センターについて直営方式で運営しており委託方式より公平性が保たれています。なお、地域包括支援センターの活動方針等について今後も運営協議会の中で審議しながら公平・公正が維持できるように運営していきます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	15	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	特定高齢者把握(生活機能評価)事業	公的関与	4	シート作成日	平成21年6月1日	
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	矢部美穂子	
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了			
		基本計画(施策) (4) 高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 20 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策 (2) 介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法	
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		主として要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の人(特定高齢者)									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	特定高齢者の一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することで、要介護状態等になることを予防します。									
			今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方に介護予防基本チェックリストを提出してもらいます。												
	② チェックリストで生活機能低下の疑われる方に、受診券のを送り病院で生活機能検査を受けてもらいます。												
	③ 生活機能低下ありの検査結果がでた場合介護予防プログラムの参加を勧めます。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	特定高齢者の年間発生者数		65歳以上高齢者人口×5%		人	目標		647	300	300			
						実績		167					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5 地域支援事業		項	1 介護予防事業		目	1 介護予防特定高齢者施策事業費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		691 千円		560 千円						
		県支出金	0 千円		345 千円		280 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		1,202 千円		952 千円						
		一般財源	0 千円		527 千円		449 千円						
		計(A)	0 千円		2,765 千円		2,241 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.758 人	4,638 千円	0.758 人	4,763 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		0 千円		7,403 千円		7,004 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	国の施策であり、高齢者が要介護状態等にならないよう予防する方法として必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	生活機能低下者を早期に発見し、介護予防につなげる手段として有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	今年度、65歳以上で介護認定を受けていない者全員に個別通知し実施しましたが、介護予防プログラムの利用につながったものはすくなくありませんでした。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	チェックリストを個別通知し、返送してもらい、記入もれの確認や生活機能低下の疑われる者への電話確認を行うためコストや業務時間を費やしたが予防プログラムの利用につながった件数は少なかったです。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	2	B	4	4	2	2	B		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	特定高齢者に決定された者に、個別的なサービス提供できる体制を整えていく必要があります。チェックリストの未返信者の実態把握をしていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	特定高齢者に対して、地域の連携体制を整えることにより、生活機能低下の見られる者の早期発見、早期対応に努めていきます。					介護予防の観点から、現在要介護者等以外の65歳以上の対象者にチェックリスト確認により、特定高齢者及び生活機能低下の状態に応じた対応を今後も継続するとともに、未確認者についても今後継続して生活機能評価の必要性を理解してもらい介護予防に努めていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	16	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	通所介護予防(運動器の機能向上等)事業	公的関与	4	シート作成日	平成21年6月1日	
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	矢部美穂子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了			
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法	
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上の者で、チェックリスト、生活機能評価を実施し、特定高齢者を決定した者で要介護状態の予防のため介護予防プログラムの利用が必要な者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	通所介護予防事業を利用することにより、運動習慣の確立を図り、心身の状態を改善し要介護状態となることを予防します。									
			今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 通所介護予防事業(運動器の機能向上プログラム等を個別計画に基づき実施)を市内事業所に委託します。												
	②												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	通所型介護予防事業利用者		通所型介護予防事業の利用者数		人	目標 ↑	実績 20	目標 ↑	実績 27				
						目標		目標					
						実績		実績					
						目標		目標					
						実績		実績					
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5 地域支援事業		項	1 介護予防事業		目	1 介護予防特定高齢者施策事業費
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考						
		国庫支出金		427 千円	848 千円	1,830 千円							
		県支出金		213 千円	424 千円	915 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		742 千円	1,475 千円	3,111 千円							
		一般財源		326 千円	645 千円	1,464 千円							
		計(A)		1,708 千円	3,392 千円	7,320 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.404 人	2,472 千円	0.404 人	2,472 千円	0.404 人	2,539 千円				
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		4,180 千円		5,864 千円		9,859 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価																																																									
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	生活機能低下の見られる者に対して、通所型の予防事業を利用してもらうことにより、心身の状態の改善を図り、要介護状態を予防していくため必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい																																																											
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある																																																											
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない																																																											
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない																																																											
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	デイサービスセンターなどのサービス事業所に委託し、個々にあったサービス計画に基づき運動器の機能向上等を図ることができます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる																																																											
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる																																																											
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない																																																											
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる																																																											
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	特定高齢者の決定者に対して事業への参加者数が少なく成果があまり上がっていない状況です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている																																																													
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない																																																													
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している																																																													
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している																																																													
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	事業所へ委託して実施しているが、利用者へ介護予防についての必要性等の周知が十分にできていないのが現状です。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当																																																											
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない																																																											
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない																																																											
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない																																																											
ACTION	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">一次評価</th> <th colspan="5">二次評価</th> </tr> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>達成度</th> <th>効率性</th> <th>総合評価</th> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>達成度</th> <th>効率性</th> <th>総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>B</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等 </td> <td colspan="5"> <input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止 </td> <td colspan="5"> <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止 </td> </tr> <tr> <td colspan="10"> 二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 </td> </tr> </tbody> </table>										一次評価					二次評価					必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	4	3	2	2	B	4	3	2	2	B	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等					<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等					<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止					<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点									
	一次評価					二次評価																																																																
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価																																																												
	4	3	2	2	B	4	3	2	2	B																																																												
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等					<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等																																																																
	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止					<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止																																																																
二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点																																																																						
今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止					<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止																																																																
当面の課題	デイサービス事業所等へ委託して事業を行っているが、介護保険の認定者と一緒にサービスを利用するため、サービスの利用に抵抗感を持つ人も多く利用に繋がらないことが多いです。					要介護者等以外の特定高齢者を対象に機能低下解消に運動器の機能向上事業を今後も継続するとともに未利用者について、介護予防対策事業として利用促進していきます。																																																																
改革案と実行計画	運動器の機能向上事業への参加のお必要な人が参加したしやすいプログラムや体制づくりを検討していきます。																																																																					
委員会指摘事項																																																																						

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	17	基本事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業	事務事業名	介護予防普及啓発事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	河野貴子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上の全ての一般高齢者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	一般高齢者に対して、健康教育、健康相談等の取組を通じて介護予防に関する知識の普及・啓発や地域の自発的な介護予防に資する活動の育成・支援を行い、介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地位社会の構築を目指していきます。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 介護予防普及啓発事業(普及啓発するためのパンフレットの作成・配布等)を行います。														
	② 地域介護予防活動支援事業(ボランティアと等の人材を育成するための研修、地域活動組織の育成・支援等)を行います。														
	③ 介護予防一般高齢者施策評価事業(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の研修を行いその結果に基づき事業の改善を図る)を行います。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標						
	講演・相談会の開催数		月2回×12ヶ月		回	目標	24	24	30	30					
						実績	17	33							
	ボランティア育成のための研修会の開催数		年3回		回	目標	3	3	5	5					
						実績	7	0							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	2	介護予防一般高齢者施策事業費
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	122 千円		128 千円		405 千円								
		県支出金	61 千円		64 千円		202 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	213 千円		222 千円		688 千円								
		一般財源	95 千円		98 千円		328 千円								
		計(A)	491 千円		512 千円		1,623 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,447 千円	0.400 人	2,447 千円	0.400 人	2,513 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		2,938 千円		2,959 千円		4,136 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	高齢者が要支援状態等になるのを予防する方法として、地域での指導・支援活動を行うことが、自立した生活を高齢者が維持するのに必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し、継続して事業を実施することが成果の向上に有効的と思われます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	人員体制等の不足により、事業成果が余り上がっていない状況です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している					
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	高齢者が要支援状態等にならないよう地域の自発的な介護予防に資する活動支援を行い、介護給付費の抑制に繋がり事業効果は高いと思われます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	介護予防体操の普及・啓発活動が実践できるような人材を育成し、地域高齢者が自ら活動に参加できるような介護予防に向けた取り組みを行っていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	介護予防施策が一般高齢者に対して、主体的に実施されるような地域社会の構築をしていくために、今後も介護予防に向けた各種事業を継続していきます。					65歳以上の一般高齢者に対して、介護予防の健康教育・健康相談・介護予防体操等の知識の普及・啓発により地域社会全体での取り組みを推進し、自立した生活維持ができるように各種事業に応じた支援を行っていきます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	18	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業		公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	東城恭子					
	事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了							
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				● 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				○ 2 非該当				根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		特定高齢者													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	特定高齢者等の心身の状況、置かれている環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等の適切な事業が包括かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行ない、要介護状態となることを予防していきます。												
				今年度													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 課題分析(アセスメント)を行います。																
	② 目標の設定																
	③ 介護予防ケアプランの作成をします。																
	④ モニタリングの実施																
	⑤ 評価																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標							
	介護予防ケアプランの作成		特定高齢者の介護予防プランの作成の作成の件数は表示設定		件	目標	↑(アップ)	↑(アップ)	↑(アップ)	↑(アップ)							
						実績	20	27									
	介護予防ケアプランの評価		特定高齢者でプラン修了者		回	目標	↑(アップ)	↑(アップ)	↑(アップ)	↑(アップ)							
						実績	16	18									
						目標											
					実績												
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	1 介護予防ケアマネジメント事業費			
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	6,182 千円		6,320 千円		7,004 千円		直接事業費に人件費(3名)15,599千円が含まれています。								
		県支出金	3,223 千円		3,160 千円		3,502 千円										
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円										
		その他特定財源	3,223 千円		3,160 千円		3,502 千円										
		一般財源	3,287 千円		2,965 千円		3,504 千円										
		計(A)	15,915 千円		15,605 千円		17,512 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.083 人	508 千円		0.083 人	508 千円		0.083 人	522 千円							
		臨時・嘱託職種															
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		16,423 千円		16,113 千円		18,034 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				特定高齢者に対して介護予防給付を受けるケアマネジメントを行うに必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				計画に基づくサービス提供が確保されるよう事業者等との調整、対象者のケアマネジメントすることにより、機能レベルの改善等が図られ有効ですが、サービス終了後介護予防の習慣の確立までは至っていない状況です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				該当者が少ないため成果としてはあまり上がっていない状況です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している					<input type="radio"/> 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当				介護予防ケアプランに基づき介護予防事業を実施し、事後のアセスメントと介護予防プラン見直し評価を行い、特定高齢者が介護状態等にならないよ予防効果があります。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	生活機能評価の結果等の情報把握や、日常生活の状況、生活機能低下の原因や背景を分析し対象者に応じた介護ケアマネジメントを行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	生活機能評価の低下について、対象者の自覚を促すとともに、介護予防に取り組む意欲を引き出すため、対象者・家族との信頼関係を構築していきます。					特定高齢者及び要支援者が要介護状態等に陥らないよう、専門職員等が生活機能評価の低下の原因等を分析し介護ケアマネジメントを実施するとともに、介護予防支援の拡充を行っていきます。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	19	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	総合相談事業		公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	大北真理子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)			2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)			(4) 高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策			(2) 介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	高齢者や家族関係者などから相談を受けて、高齢者の心身の状況、生活状況に必要な支援の把握をして、地域における関係者とのネットワークを構築し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるように適切なサービス指導や制度につなげて継続的専門的な相談支援を行います。											
				今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 地域におけるネットワークの構築															
	② 高齢者の実態把握															
	③ 総合相談支援															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標						
	相談件数		総合相談延件数		件	目標	400	450	450	450						
						実績	450	497								
						目標										
						実績										
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会計		介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	2 総合相談事業費		
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考									
		国庫支出金		3,645 千円	3,819 千円	3,826 千円	直接事業費に人件費(1名)9,493千円が含まれています。									
		県支出金		1,900 千円	1,909 千円	1,913 千円										
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円										
		その他特定財源		1,900 千円	1,909 千円	1,913 千円										
		一般財源		1,938 千円	1,795 千円	1,915 千円										
	計(A)		9,383 千円	9,432 千円	9,567 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.833 人 5,097 千円	0.833 人 5,097 千円	0.833 人 5,234 千円										
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円												
全体事業費(A+B)		14,480 千円		14,529 千円		14,801 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
							少ない	大きい			少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いろいろな援護を必要とする高齢者へや家族への支援は必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談を受け、地域における適切なサービスや制度を利用する事は有効です。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	総合相談支援をすることにより、地域の高齢者が不安解消でき安心して生活を継続できています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談内容に即したサービス又は制度に関する情報提供、関係機関の紹介等行うことにより効率的に支援できてます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価				二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A	
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
当面の課題	認知症についての相談窓口の体制強化を図ります。地域資源の状況把握を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	認知症介護に専門的な知識を有する専門職の配置が必要です。地域資源マップやリスト等作成します。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活維持ができるように、総合相談事業を実施し、高齢者の状況に応じた地域におけるネットワーク(医療機関・各事業所等)の必要な利用紹介をします。また、認知対象者等の継続的な相談支援体制を構築していきます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	権利擁護事業		公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	大北真理子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり					実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実					<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進					<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	社会福祉の援助を必要としている人々の生活を擁護するため、成年後見制度や権利擁護に関する事業を行い地域において尊厳ある生活を構築し、安心して自立生活を行うことができますようにします。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 成年後見制度の活用促進													
	② 老人福祉施設への措置の支援													
	③ 高齢者虐待への対応													
	④ 困難事例の対応													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	成年後見権利擁護に関する相談件数		1年間の相談延件数		件	目標	10	10	10	10				
						実績	5	10						
	住民及び関係者への啓発活動		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2				
						実績	0	5						
	関係機関への研修会		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2				
実績						0	1							
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	3	権利擁護事業費
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考							
		国庫支出金		3 千円	36 千円	45 千円								
		県支出金		1 千円	18 千円	22 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		1 千円	18 千円	22 千円								
		一般財源		1 千円	18 千円	22 千円								
	計(A)		6 千円	90 千円	111 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.125 人	765 千円	0.125 人	765 千円	0.125 人	785 千円					
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		771 千円		855 千円		896 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	成年後見制度等の権利擁護を目的とするサービスや制度を活用するなど、ニーズに即した適切なサービス機関につなぎ、適切な支援を提供することが、高齢者の生活の維持するために必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	民生員、施設、サービス関係者などの対応だけで問題解決できない困難な場合に、専門的、継続的な観点から高齢者の権利擁護を支援することで地域において安心して生活を維持するのに有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	制度が必要な高齢者は存在するが、利用するには費用等、問題があります。しかし、地域で安心して暮らして行くためにはこの制度は必要であり、事業を継続します。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	現状においては、問題解決できない事例について、行政が事業として携わることが効率的であると思われます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	2	4	A	4	4	2	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	高齢者の人権や財産を守り、地域で安心して生活するために、支援の方法として成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用をしていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の制度の周知、啓発を図ります。					65歳以上の高齢者で権利擁護が必要な該当者に、成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の制度に基づき今後も相談対応を行っていきます。高齢者の各会合・研修会等を利用しパンフレット等を配布して制度の周知、啓発を図っていきます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	21	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	東城恭子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了							
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者及び関係者													
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	主治医、ケアマネジャー、各関係機関の連携を促進することにより指導助言等を行い、包括的・継続的にケアマネジメントに地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援していきます。												
				今年度													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 包括的・継続的ケア体制の構築																
	② 地域における介護支援専門員のネットワークの活用																
	③ 日常的個別指導・相談																
	④ 支援困難事例等への指導・助言																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標							
	ケアマネからの相談件数		年間の相談件数		件	目標	30	35	50	50							
						実績	25	76									
	介護支援専門員連絡会		6ヶ月に1回		回	目標	2	3	3	3							
						実績	2	3									
	事業所・連絡会		年に1回		回	目標		0	1	1							
					実績		1										
DO	予算費目	会 計			介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		
			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	2,909 千円		2,819 千円		3,088 千円		直接事業費に人件費(1名)7,489千円が含まれています。								
		県支出金	1,454 千円		1,409 千円		1,544 千円										
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円										
		その他特定財源	1,454 千円		1,409 千円		1,544 千円										
		一般財源	1,366 千円		1,324 千円		1,544 千円										
		計(A)	7,183 千円		6,961 千円		7,720 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.500 人	3,142 千円									
		臨時・嘱託職種															
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円										
全体事業費(A+B)		7,183 千円		6,961 千円		10,862 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	在宅・施設を通じて地域における包括的・継続的なケアを実施するため医療機関を含めた関係機関との体制連携を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援等が必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	在宅と施設の連携など、地域において、多種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的・継続的にケアが提供され有効的です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	地域包括支援センターで実施する事業(介護予防支援、ケアマネジメント等)と関係機関の連携によりケア体制の構築が概ね図られています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	各関係機関の連携促進、指導助言・研修会等を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができ、事業効率が高いと思われます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	包括的・継続的なケア体制を構築していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の事業所等と高齢者との連携・協力体制の整備を図ります。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができるように、地域包括支援センターを中心に医療機関を含めた介護事業所等の関係者と連携体系を構築し、今後も包括的・継続的ケアマネジメント事業を継続・拡充していきます。							
	委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	介護給付費適正化事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	真島博之		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	介護サービスを利用している介護保険被保険者、介護サービスを提供している事業者									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	介護給付費や介護保険料の増大を抑制することを通じて、持続可能な介護保険制度を構築します。								
			今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 要介護認定調査を委託している事業者に対し、要介護認定の適正化を目的とした研修及び指導を実施します。											
	② 介護支援専門員が作成したケアプランの点検及び指導を実施します。											
	③ 介護サービスのうち、住宅改修、福祉用具貸与・購入にかかる実態調査を実施します。											
	④ 介護サービスを利用した被保険者に対して、介護給付費通知を発送します。											
	⑤ 国保連合会による医療情報との突合、縦覧点検の結果に基づき、介護サービスを提供している事業者に対し、指導を実施します。											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標			
	介護給付費通知		国保連合会からの年4回の給付費通知件数	件	目標	→(維持)	→(維持)	→(維持)	→(維持)			
					実績	8,000	8,400					
	医療情報との突合		国保連合会からの毎月の給付過誤リスト該当者年間総件数	件	目標		→(維持)	→(維持)	→(維持)			
					実績		156					
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5 地域支援事業費	項	2 包括的支援事業・任意事業費	目	5 任意事業		
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算		備考				
		国庫支出金		0 千円	978 千円	365 千円		No:2をNo:22に変更移動記載				
		県支出金		0 千円	489 千円	183 千円						
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源		2,490 千円	489 千円	183 千円						
		一般財源		0 千円	459 千円	573 千円						
	計(A)			2,490 千円	2,415 千円	1,304 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.150 人	918 千円	0.150 人	918 千円	0.150 人	943 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)			3,408 千円	3,333 千円	2,247 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							○ 少ない	● 大きい					○ 少ない	● 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					○ 少ない	● 大きい	厚生労働省の指導の下、平成19年度に徳島県においても「介護給付適正化計画」が作成され、平成20年度から各市町村も介護給付費の適正化事業を実施することになっています。ただし、初年度であるため、事業の推進方法については、改善の余地があります。現行は介護給付通知のみ対応しています。				○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					○ ない	● ある					○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					● ある	○ ない					● ある	○ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○ いる	● いない					○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○ いえない	● いえる	介護サービスを提供する事業者に対し、新規で実施する適正化事業の概要を説明する機会がありました。その後、事業の具体的な内容、事業実施時期についての問い合わせがありましたので、注視されていると思います。その結果、介護サービス提供に対する意識が向上すると思われます。				○ いえない	● いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○ いえない	● いえる					○ いえない	● いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○ する	● しない					○ する	● しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○ できない	● できる					○ できない	● できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					○ 目標に比べて劣っている	目標設定が困難であるため一概に判断できませんが、平成20年度においては事業展開が不十分でありました。特に、ケアプランの点検及び指導について、実施が少なかつたためマイナス評価とします。				○ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					● あまり上がっていない					● あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					○ 概ね達成している					○ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					○ 十分達成している					○ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					○ 高い	● 適当	介護給付費の総額は単年度で約30兆円を超え今後も増加すると予想されます。仮に0.1%でも伸び率を抑制することが出来れば、年間約3千万円以上の介護給付費抑制に繋がり、保険料の抑制にも繋がります。現時点では、人員的に実施の手法で検討中ですが、円滑に進めば費用対効果は十分良好と思われます。				○ 高い	● 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					○ できる	● できない					○ できる	● できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					● ある	○ ない					● ある	○ ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○ ある	● ない					○ ある	● ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	3	4	2	3	B	3	4	2	3	B			
		● 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 民間委託等		
	当面の課題	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点												
		目標達成の判断は、長期的な視点で判断する必要があります。現状では、介護サービスの事業者に対する点検・指導を強化することを中心として不適切な給付を削減することを目的としていますが、その効果的な手法の構築が当面の課題です。また、適正化事業の実施のために限られた人員でどの程度の推進が出来るかを見極める必要もあります。					介護給付の適正化及び介護給付費等を抑制するために、国保連合会等との給付審査(システム情報)及び事業所情報についての連携を図り、現状では十分でないチェック体制等(人員確保・事業所指導)を強化することにより、市の介護保険制度を安定維持するための対策として、今後は取り組みを強化する必要があります。							
	改革案と実行計画	介護給付システムにより介護サービスが不適切に利用されている可能性がある被保険者を抽出する段階で、ある程度の絞り込みを行い、その後担当する介護支援専門員に対するケアプラン点検を実施する計画です。絞り込みの条件については、サービス種別の偏りや頻度を勘案する予定です。												
	委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	23	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	家族介護継続支援(家族用品支給)事業	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	妹尾千恵子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		在宅で要介護認定者を介護している家族(要介護4又は5、市民税非課税世帯)											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	紙おむつ等の介護用品を支給することにより、要介護者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ります。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 介護用品(紙おむつ、尿取りパッド)の支給(市民税非課税世帯)														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標						
	介護用品支給対象者		年間の介護用品支給対象者数		人	目標 20	実績 19	↑	↑	↑					
						目標									
						実績									
						目標									
						実績									
DO	予算費目	会計		介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算	備考								
		国庫支出金		378 千円	459 千円	630 千円									
		県支出金		189 千円	230 千円	315 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		189 千円	230 千円	315 千円									
		一般財源		178 千円	216 千円	315 千円									
	計(A)		934 千円	1,135 千円	1,575 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.140 人	857 千円	0.140 人	857 千円	0.140 人	880 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		1,791 千円		1,992 千円		2,455 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより負担軽減が必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上ができて有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	申請者(該当者)について、概ね支給対応できています。ただし、該当者の内一部の未申請者についての周知が必要です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	在宅で要介護者を介護している家族の負担軽減を図ることにより、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ることができます。効率的に実施されています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	該当者へ事業内容の周知(該当者のうち未申請者について)を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行い、該当者への連絡、申請を促します。					在宅での要介護者(要介護4~5)を介護している家族との在宅生活を継続可能にする施策として、低所得者世帯(市民税非課税)の支援事業として今後も事業継続していきます。 未利用者等の該当者についても周知を行い利用促進を図ります。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	その他事業(住宅改修支援事業)	公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	林正二		シート作成者名	妹尾千恵子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	居宅サービス計画の作成をする介護支援専門員がいない要介護者									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書の作成及び作成した場合の経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活が送れるように支援します。								
			今年度									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由がわかる書類を作成した場合の経費の助成											
	②											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標			
	住宅改修の理由書作 成件数		年間の理由書作成経費助成件数		件	目標	10	→	→	→		
						実績	6	2				
						目標						
						実績						
						目標						
実績												
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5 地域支援事業費	項	2 包括的支援事業・任意事業費	目	5 任意事業		
	直接事業費			平成 19 年度決算	平成 20 年度決算	平成 21 年度予算		備考				
		国庫支出金	5 千円		1 千円		8 千円					
		県支出金	2 千円		1 千円		4 千円					
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源	2 千円		1 千円		4 千円					
		一般財源	3 千円		1 千円		4 千円					
	計(A)		12 千円		4 千円		20 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.004 人	24 千円	0.004 人	24 千円	0.004 人	25 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		36 千円		28 千円		45 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、自立した日常生活を送れるよう支援するため必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護者の負担軽減が図れます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、地域における自立した日常生活の継続が可能になります。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成し住宅改修することにより要介護者が在宅で効率的に自立生活が送れます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	要介護認定者を支援する事業として、今後も必要な要介護者に対して継続するとともに、事業内容を周知していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行います。					地域支援事業の中で任意事業として、該当者は少数ですが地域における自立した日常生活を支援する施策として、制度上必要なため継続していきます。							
	委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成20年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	任意事業		事務事業名	その他事業(成年後見制度利用支援事業)		公的関与	1	シート作成日	平成21年6月1日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	林正二		シート作成者名	妹尾千恵子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策) 2. 安全・安心のまちづくり				実施計画				事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当				平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策 (2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当				根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		成年後見制度の申立をする者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申立に要する経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活の支援を行います。									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 成年後見制度の申立に要する経費の助成を行います。													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	最終目標				
	制度の申立申請件数		年間の申請件数		件	目標	→	→	→	→				
						実績	0	1						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	5 任意事業
	直接事業費			平成 19 年度決算		平成 20 年度決算		平成 21 年度予算		備考				
		国庫支出金		0 千円		3 千円		87 千円						
		県支出金		0 千円		1 千円		44 千円						
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源		0 千円		1 千円		44 千円						
		一般財源		0 千円		3 千円		43 千円						
	計(A)		0 千円		8 千円		218 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.002 人	12 千円	0.002 人	13 千円					
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		0 千円		20 千円		231 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	成年後見制度の申立費用を助成することにより、高齢者等の日常生活の支援を行うため必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	成年後見制度の申立費用を助成することにより、該当者の負担軽減ができて有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定になじまないため評価できません。 必要な該当者については、対応できています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	年度により該当者の有無がありますが、相談等を通じて判断ができない高齢者等が成年後見制度を利用することが効率的です。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	成年後見制度の事業内容の周知を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	各事業所及ひとり暮らしの高齢者等の方で、必要な方を対象に各種相談の段階で成年後見制度の利用説明を行います。					低所得者の高齢者に地域支援事業の任意事業として、成年後見制度の利用が必要な該当者(少数)に対して、申し立てに必要な経費を助成していきます。							
委員会指摘事項														